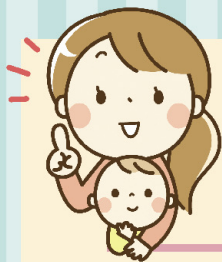


RSウイルスに 注意しましょう!!



RSウイルスは、乳幼児の呼吸器感染症の代表的なウイルスです。幼児が感染すると、鼻汁、咳、発熱などの症状がでます。多くは2日から1週間ほどで治癒します。

しかし、**新生児がRSウイルスに感染すると、重症の急性細気管支炎を起こし、呼吸困難に陥る可能性があります。必ずしも発熱は伴いません。**



赤ちゃんに対する RSウイルス・チェックリスト

- ☐ 赤ちゃんにお兄ちゃん・お姉ちゃんがいる
- ☐ 赤ちゃんのお兄ちゃん・お姉ちゃんが、ゴホゴホと咳をしていたり、鼻水がズルズル出ている
- ☐ 赤ちゃんが、急に元気がなくなり、お乳を飲まなくなった
- ☐ 昨日まで元気に泣いていた赤ちゃんが、じっと動かずに寝てばかりいる

上記の項目に3つ以上該当する場合は、RSウイルス感染症の可能性あります。はやめに小児科医の診察を受けてください。

生まれてくる子の予防を目的に妊婦に接種するワクチンが薬事承認されています。詳細については、医師にご相談ください。



徳島県では、RSウイルス感染症による乳児の死亡を減少させるため、県民の方々への普及啓発を推進しています。

徳島県・徳島県周産期医療協議会